

次期広域最終処分場施設配置計画について

1. 次期広域最終処分場施設配置計画作成方針

次期広域最終処分場施設配置計画の作成方針は以下のとおりである。

■施設配置検討方針

- (1) 埋立容量を確保できる造成形状
埋立容量 5.7 万 m³ を確保できる造成形状とする。
- (2) 動線の確保
廃棄物の搬入の流れに従って、場内の搬入車両が円滑に移動できるような動線を確保する。
- (3) 関連施設の効率的な配置
管理施設や浸出水処理施設、浸出水貯留施設等の関連施設は、効率的な運用が可能となるよう配置する。

2. 次期広域最終処分場施設配置における条件

予備調査の結果を踏まえ、施設配置図作成の基本条件を整理した。オープン型次期広域最終処分場及び被覆型次期広域最終処分場における基本条件を表 1 に示す。

表 1 施設配置の基本条件

施設	オープン型次期広域最終処分場	被覆型次期広域最終処分場
埋立地	・埋立面積：8,000m ² ・埋立高：10m～15m	・埋立面積：40m×150m ・埋立高：10m
埋立地内	・切土勾配：1:1.2 ・盛土勾配：1:2.0 ・小段幅：2.0m	・コンクリート壁：垂直 ・屋根：幅 40m
造成法面	・切土勾配：1:1.2 ・盛土勾配：1:2.0 ・小段幅：1.5m	・切土勾配：1:1.2 ・盛土勾配：1:2.0 ・小段幅：1.5m
貯留構造物	・構造形式：堰止め形式	・構造形式：コンクリート擁壁
浸出水処理施設	・処理能力：200m ³ /日 ・施設面積：700m ² (20m×35m)	・処理能力：25m ³ /日 ・施設面積：500m ² (20m×25m)
浸出水貯留施設	・容量：10,000m ³ ・施設面積：1,700m ² (25m×68m)	・容量：200m ³ ・施設面積：40m ² (5m×8m)
管理施設	・施設面積：400m ² (20m×20m)	・施設面積：400m ² (20m×20m)
防災調整池	・容量：2,700m ³ ・施設面積：1,200m ²	・容量：2,700m ³ ・施設面積：1,200m ²
搬入道路	・道路幅：7m ・縦断勾配：10%	・道路幅：7m ・縦断勾配：10%

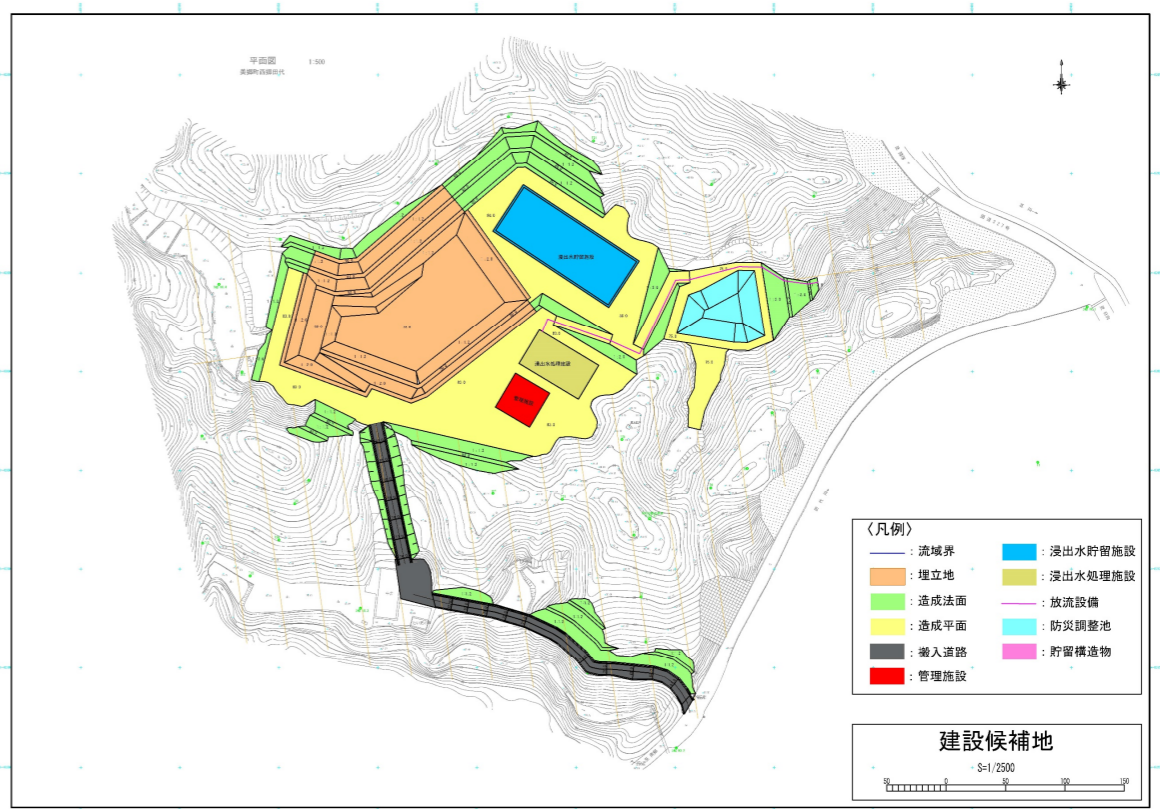


図 1 オープン型 次期広域最終処分場施設配置図

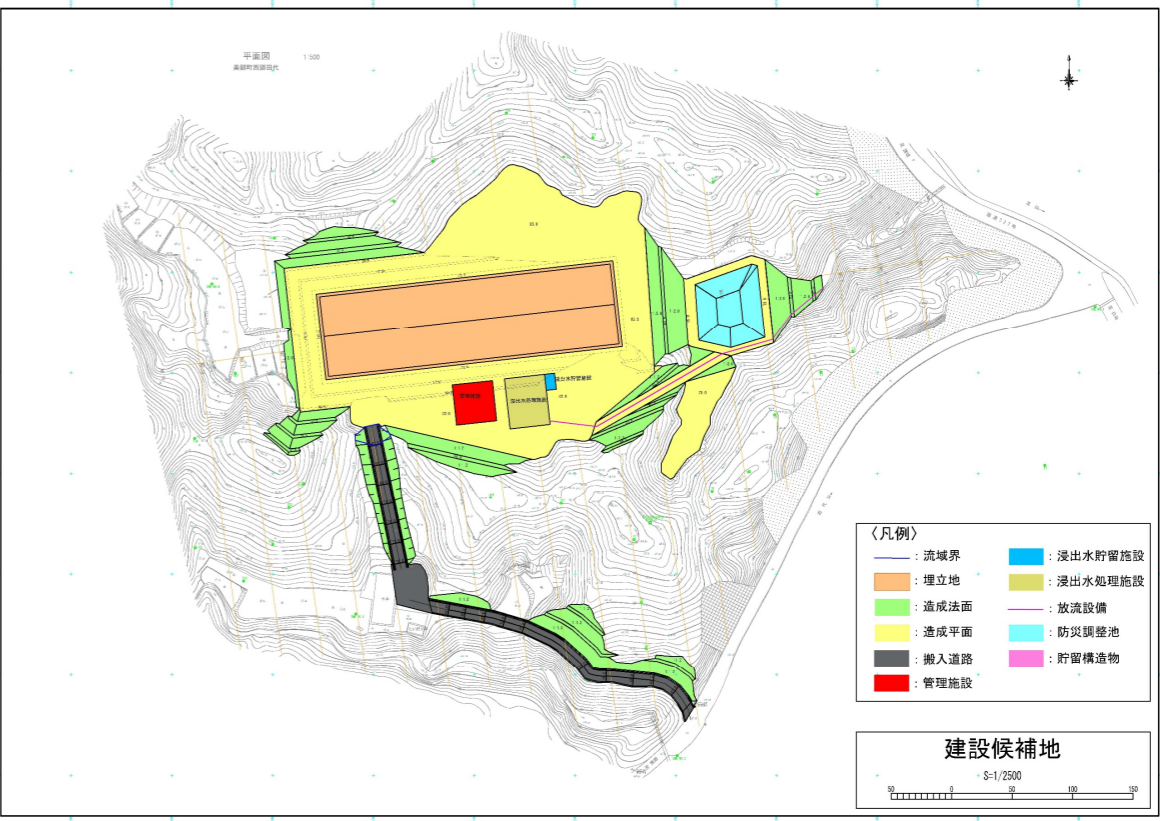


図 2 被覆型 次期広域最終処分場施設配置図

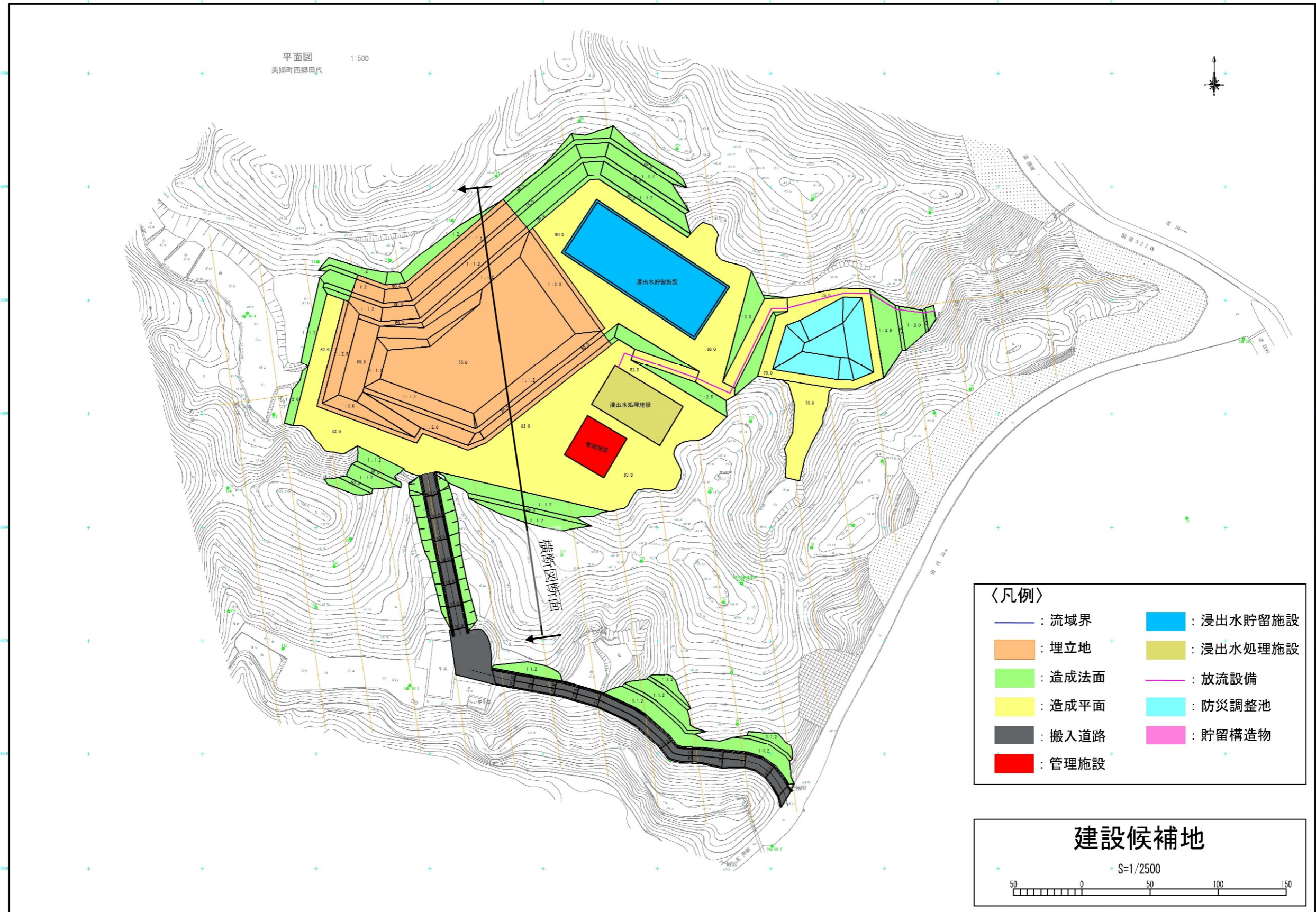


図3 オープン型次期広域最終処分場施設配置図

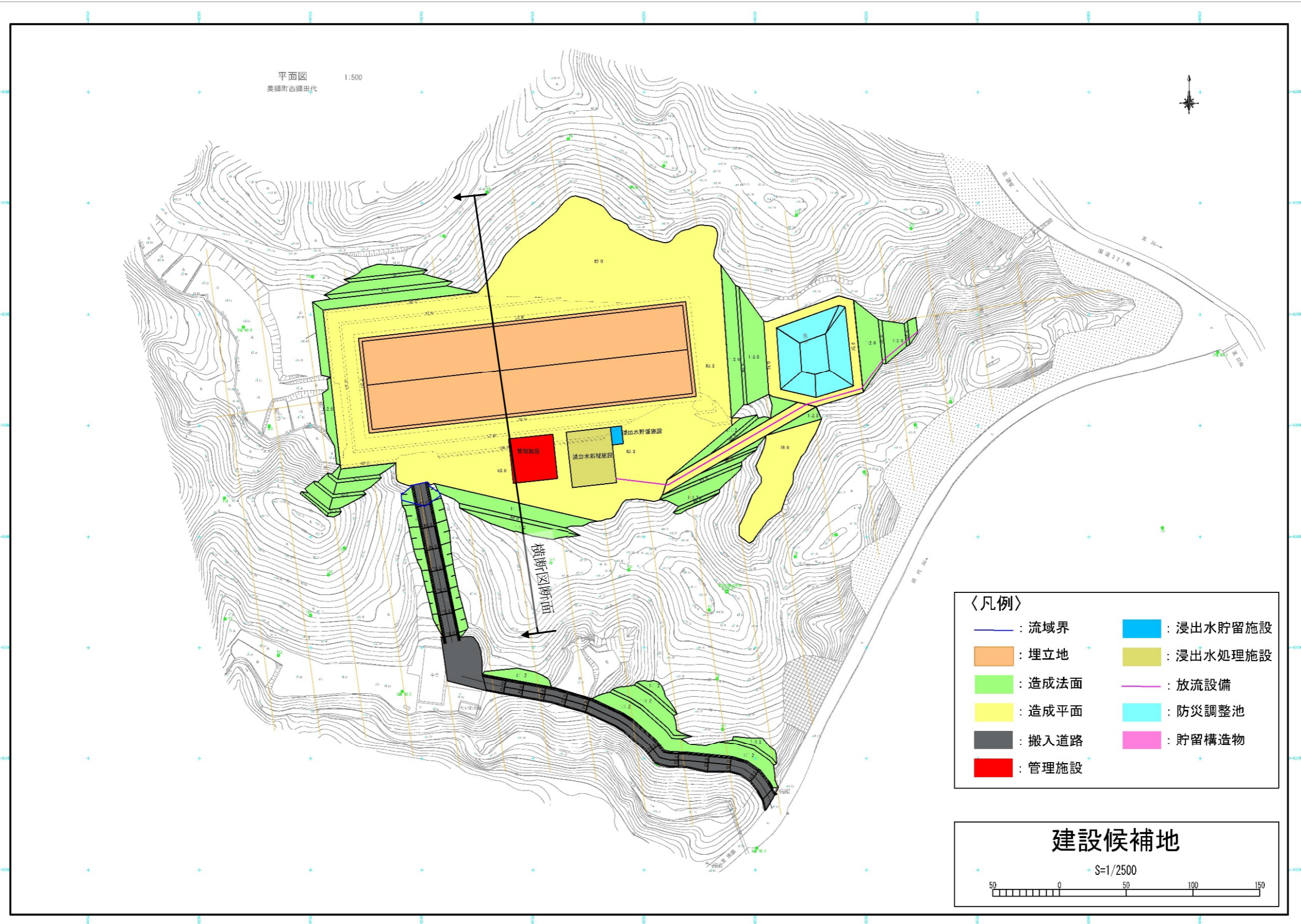


图 4 被覆型次期広域最終処分場施設配置図

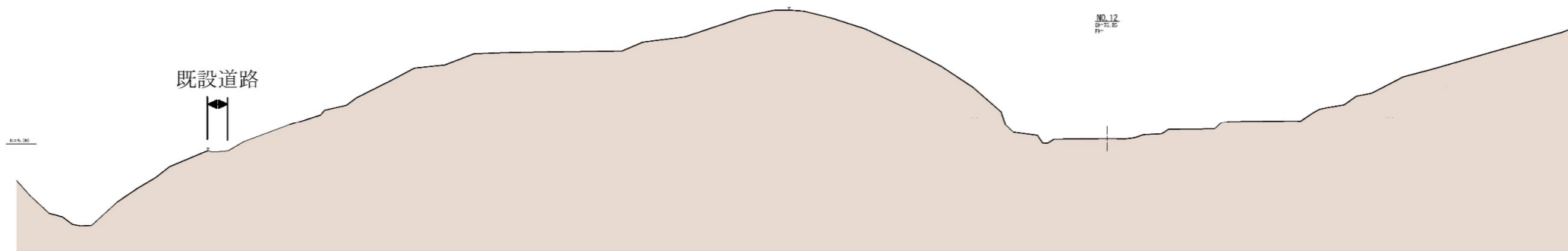


図 5 現況横断面図

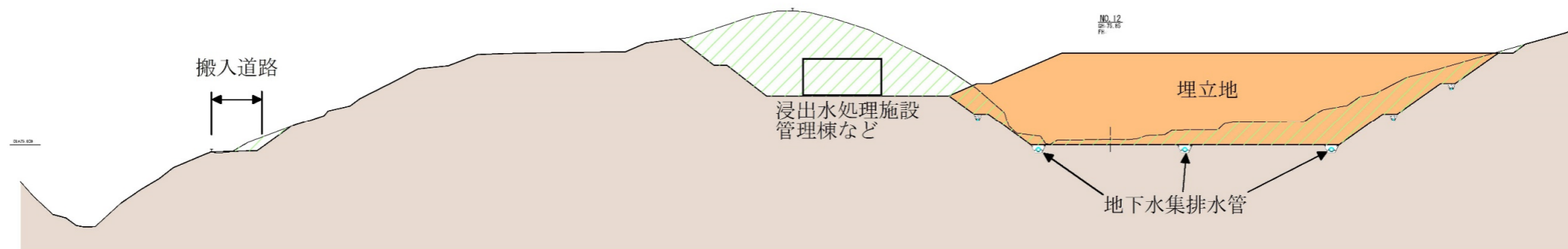
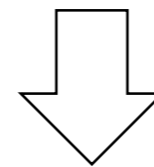


図 6 オープン型次期広域最終処分施設配置図横断面図

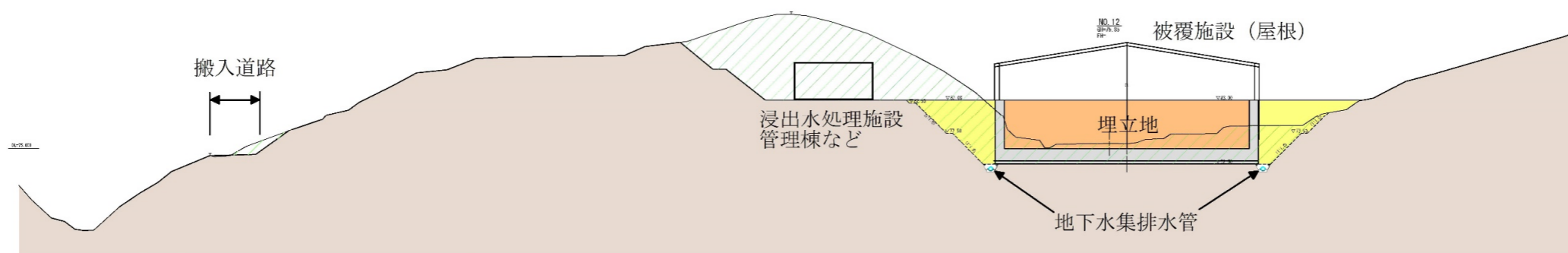


図 7 被覆型次期広域最終処分場施設配置図横断面図